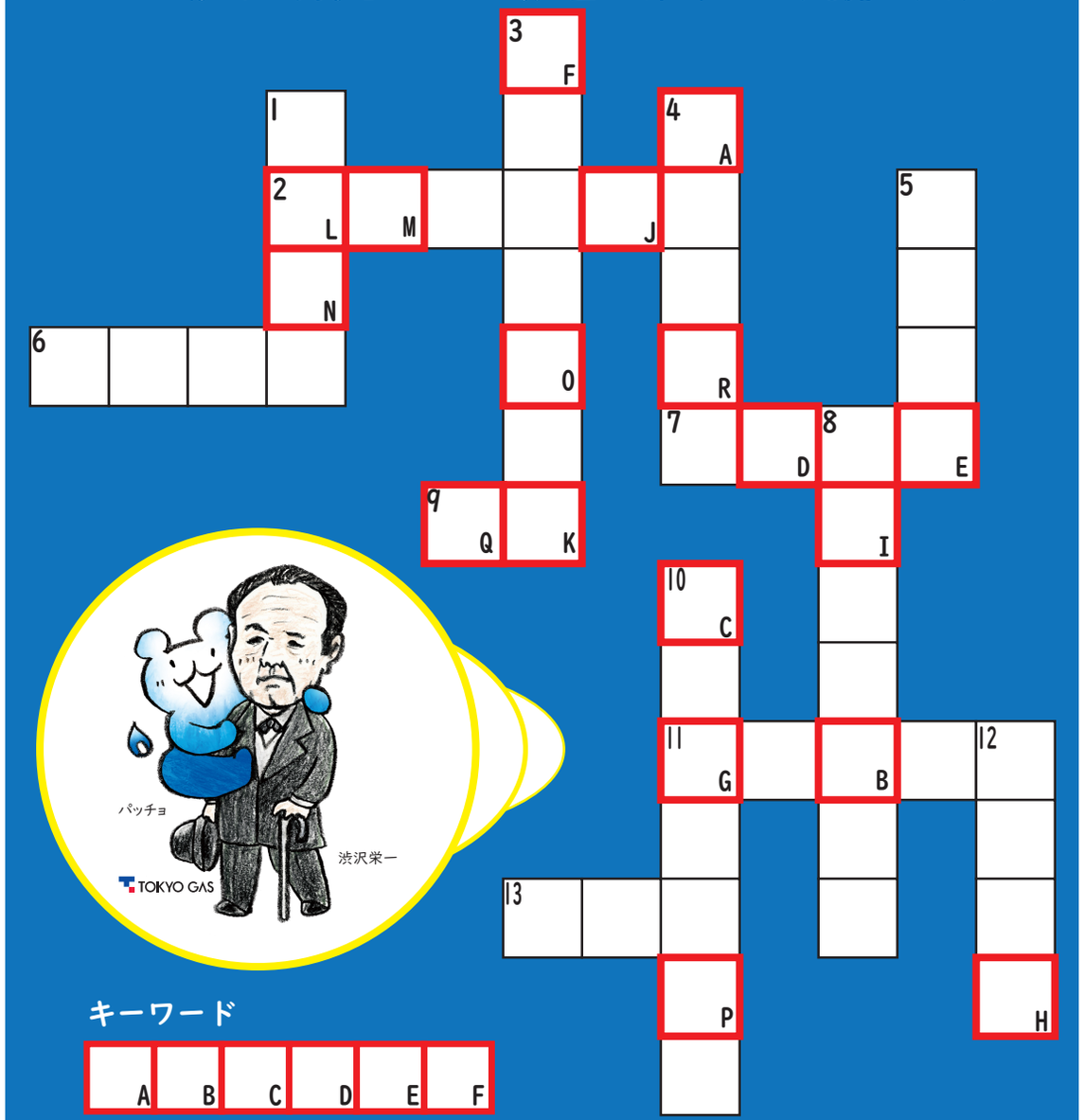
クロスワードパズル

タテヨコのカギをヒントにワクを埋めよう！
赤ワクの文字をＡ～Ｒの順に並べて、キーワードも見つけてね！



キーワード

A	B	C	D	E	F

G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R

【タテのカギ】

1.2021年に渋沢栄一を主人公とする大河ドラマ「〇〇〇〇を衝け」が放送されました。

3.「近代〇〇〇〇〇〇〇の父」とも称される渋沢栄一は、明治７年から明治42年までの35年間にわたり、東京のガス事業を主導していました。

4.渋沢栄一は、近代都市の象徴としてパリの〇〇〇〇〇広場のガス灯の光景に感動しました。

5.慶應３年、徳川慶喜の弟の徳川昭武のパリ〇〇〇〇使節団の一人として27歳の渋沢栄一はヨーロッパへ渡りました。

8.新一万円札の裏面に描かれている〇〇〇〇〇〇〇のレンガは、渋沢栄一が設立した「日本初の機械式レンガ工場」で作られたものが使われました。

10.ガス事業は東京会議所から東京府に引き継がれ、明治18年10月1日渋沢栄一により民間会社として〇〇〇〇〇〇〇会社が創立されました。

12.渋沢栄一が帰郷の際に好んで食べた「煮ぼうとう」は、手打ちの平麺に野菜がたっぷり入った、〇〇〇〇味の麺料理です。

【ヨコのカギ】

2.７月３日に新紙幣が発行されました。東京ガスの生みの親でもある渋沢栄一は〇〇〇〇〇〇札に描かれています。

6.ガス灯から始まったガス事業ですが渋沢栄一は今後は〇〇〇〇利用が主流になると考え、ガスかまどやお風呂など国産ガス機器の開発が進みました。

7.渋沢栄一は論語の精神を重んじ「〇〇〇〇経済合一説」を唱え、500社を超える企業の設立・育成に関わりました。

9.渋沢栄一の生まれた深谷市の農家では、農業・養蚕のほかに〇〇の葉を仕入れ〇〇玉という染料のもとを製造し売っていました。

11.渋沢栄一はガス灯の設置にもたずさわりました。明治７年東京ではじめて金杉橋から〇〇〇〇〇まで85基のガス灯がともりました。

13.渋沢栄一は「日本国際〇〇〇親善会長」として、日米の人形の交換につとめました。アメリカから贈られた「青い目の人形」は全国の小学校に送られ歓迎を受けました。